

<b>科目名 Course Title</b>	新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム		
<b>講義題目 Subtitle</b>	新渡戸カレッジ特別演習: 社会課題解決演習		
<b>責任教員 Instructor</b>	金子 純一 [KANEKO Junichi] (大学院工学研究院) 新渡戸カレッジ: 谷 博文 [TANI Hirofumi] (大学院工学研究院) 新渡戸カレッジ: ホイトフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (教育イノベーション機構) 新渡戸カレッジ: 楊 梓桐 [YANG Zitong] (教育イノベーション機構)		
<b>担当教員 Other Instructors</b>	椎名 希美 [SHIINA Nozomi] (スタートアップ創出本部)		
<b>科目種別 Course Type</b>	新渡戸カレッジ独自科目		
<b>開講年度 Year</b>	2026	<b>期間 Semester</b>	1 学期
<b>授業形態 Type of Class</b>	演習	<b>単位数 Number of Credits</b>	2
<b>補足事項 Other Information</b>	-		
<b>キーワード Key Words</b>			
社会課題、企業課題、事業創造、AI 活用、PBL、短期集中、チーム型学習			
<b>授業の目標 Course Objectives</b>			
<p>本科目は、大学院共通授業科目(教育プログラム):実践型アントレプレナーシップ教育プログラム「社会課題解決演習」として開講し、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生へは、「新渡戸カレッジ特別演習: 社会課題解決演習」としても開講する。学生自らの専門的知識と新渡戸カレッジで培う「3+1 の力」(能力更新力、組織形成力、社会還元力、専門職倫理)を活用し、チームによるプロジェクトを進めていく。</p> <p>社会や企業が直面する実際の課題を題材に、短期間で事業創造に取り組む実践的プログラムである。チームで協働しながら、課題の理解、解決アイデアの創出、事業構想までを一気通貫で行う。その過程において、事業創造に特化した AI ツールを積極的に活用し、調査・発想・整理・検証の各プロセスを効率的かつ効果的に進める力を養う。</p> <p>本講義を通じて、複雑で不確実性の高い課題に対して、実装を見据えた事業アイデアを構想できる高度人材の育成を目指す。</p>			
<b>到達目標 Course Goals</b>			
<p>本講義の到達目標は以下のとおりである。</p> <p>社会課題および企業課題を多角的に分析し、事業機会として捉えることができる。</p> <p>チームでの協働を通じて、課題解決型の事業アイデアを構想できる。</p> <p>事業創造に特化した AI ツールを活用し、リサーチ・発想・整理を効率的に行うことができる。</p> <p>短期間で事業コンセプトをまとめ、論理的に説明・提案することができる。</p>			
<b>授業計画 Course Schedule</b>			
<p>ガイダンス・課題理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義の目的と進め方</li> <li>・社会課題/企業課題の提示</li> <li>・事業創造における AI 活用の基礎</li> </ul> <p>課題分析・アイデア創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の構造化</li> <li>・AI ツールを用いたリサーチ・発想</li> <li>・チーム別ディスカッション</li> </ul> <p>事業構想・ブラッシュアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業コンセプト設計</li> <li>・価値提案・顧客像の整理</li> <li>・実装可能性・持続性の検討</li> </ul> <p>最終発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業アイデアのプレゼンテーション</li> <li>・フィードバック・振り返り</li> </ul>			

### 準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

指定された社会課題・企業課題に関する事前調査  
AIツールの基本的な操作理解  
チーム内でのアイデア整理・資料作成

### 成績評価の基準と方法 Grading System

授業・演習への参加および貢献度:40%  
課題提出(事業アイデア・検討プロセス):30%  
最終プレゼンテーション:30%

### テキスト・教科書 Textbooks

### 講義指定図書 Reading List

特定の教科書は指定しない。必要な資料や参考文献は授業内で適宜紹介する。

### 参照ホームページ Websites

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

### 備考 Additional Information

AIツールは教育目的で利用し、適切な利用方法についても授業内で扱う。

日時:2026年8月7日(金)~9日(日)9:00~18:00(2泊3日の宿泊型)

会場:Compass(北海道青少年会館コンパス)を予定

〒005-0022 北海道札幌市南区真駒内柏丘7丁目8-1

定員:10名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料

※宿泊費は大学が負担します。

※現地までの交通費および食費は自己負担となります。

締切:7月7日(火)

履修を希望される方は下記応募フォームより期限までにお申込下さい。

<https://forms.gle/kq3vn46gvhW8m9aU8>

※履修登録は事務局が一括して行います。

※本科目は、大学院共通授業科目(教育プログラム):実践型アントレプレナーシップ教育プログラム「社会課題解決演習」として開講される。新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生で、当該科目の単位を修得した者は、新渡戸カレッジオナーズプログラムの「新渡戸カレッジ特別演習:社会解決演習」の2単位を修得したものとみなし、同カリキュラムを修了するために必要な単位に含めることができる。詳細については、新渡戸カレッジ独自科目責任教員(谷、[tani@eng.hokudai.ac.jp](mailto:tani@eng.hokudai.ac.jp))に問い合わせること。